

(別紙5)

整理番号 2022P-014  
補助事業名 2022年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する補助事業  
補助事業者名 (一財)日本サイクルスポーツセンター

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

WCCは、スイスのエイグルに所在し、世界各国からポテンシャルの高いタレントを集結させて優秀なコーチ陣が指導している。また、UCIの本部も隣接するため、長期ビジョンに基づく年代別の段階的な指導方法などの英知の集積地でもある。CCC修善寺では、そのサテライトセンターである利点を活かし、WCC本部と指導方法や各種プログラムなどの情報交流、共有により、世界トップレベルのノウハウを入手、これまで本センターが培った経験、実績と合わせ、そのシナジー効果により日本を含むアジア地域の自転車競技発展に寄与する。

### (2) 実施内容

トレーニングキャンプの開催回数としては、予定通り2回実施ができた。ただし、上述の通り第1回目は、まだ日本入国規制緩和以前であったため、日本人のみ、しかも中高生を中心に参加を募集した。夏季休業中ではあったものの、学校や学業、その他の事情から日本人のみのキャンプで2週間継続することは現実的ではないと判断、5泊6日に短縮して実施、第2回目は、予定通り2週間のキャンプが開催できた。内容は、その期間で最大限、参加者の有益になるようなプログラムを計画、遂行することができた。

<https://www.csc.or.jp/subsidized-projects/> (URL)



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

COVID-19のパンデミック下で、いわゆる「鎖国」状態でも、日本国内における当センターのニーズの高まり、そして海外勢受入再開後の各国からのオファー、日本チームの外国人コーチからのアドバイス等、やはり本センターは、施設などのハードにおいても、それを最大限利活用できるノウハウを持つソフト面においても、世界一のトレーニングセンターとして稼働できるポテンシャルは非常に大会と思慮される。今後は、Withコロナのトレーニングキャンプで、いかに効率的に、かつ安全で発展性を持ち合わせた事業としていくかがポイントとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

印刷物 トレーニングマニュアル 50冊

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター

(イッパンザイダンホウジンニッポンサイクルスポーツセンター)

住 所： 〒410-2402

静岡県伊豆市大野1826番地

代 表 者： 平柳 豊 (カイチョウ ヒラヤナギ ユタカ)

担 当 部 署： 総務部 経理課 (ソウムブ ケイリカ)

担 当 者 名： 経理担当課長 土屋 博良

(ケイリタントウカチョウ ツチヤ ヒロヨシ)

電 話 番 号： 0558-79-0006

F A X： 0558-79-0908

E - m a i l： [csczaimu@csc.or.jp](mailto:csczaimu@csc.or.jp)

U R L： <https://www.csc.or.jp>